

出張医学教育FD(市立大町総合病院)

【日時】 平成25年5月29日18時10分～18時40分

【場所】 市立大町総合病院

【参加人数】 25名

【内容】

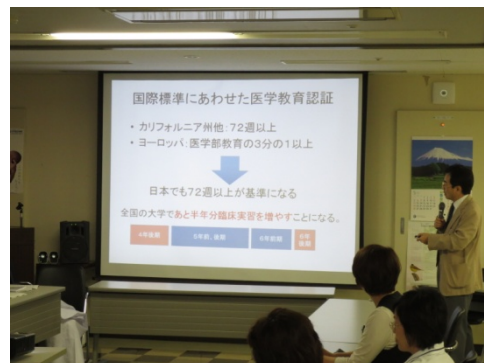
○卒前クリニカルクラークシップの現状

- ・見学型臨床実習(ポリクリ)と参加型臨床実習の違い等

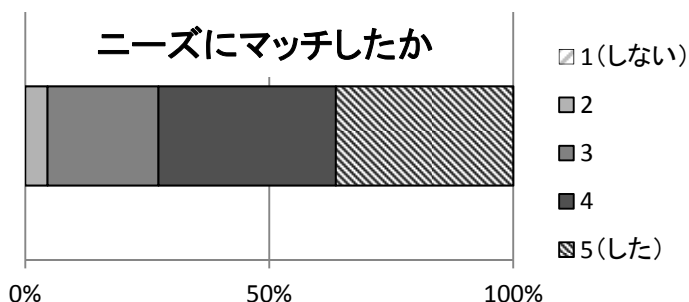
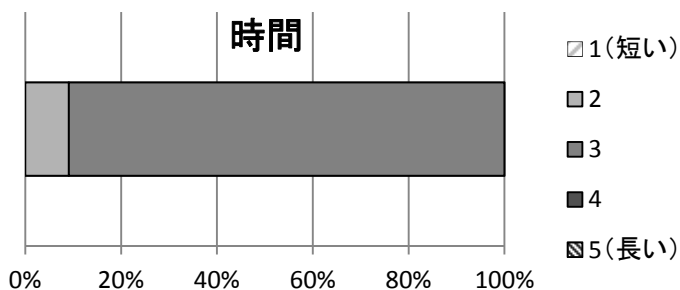
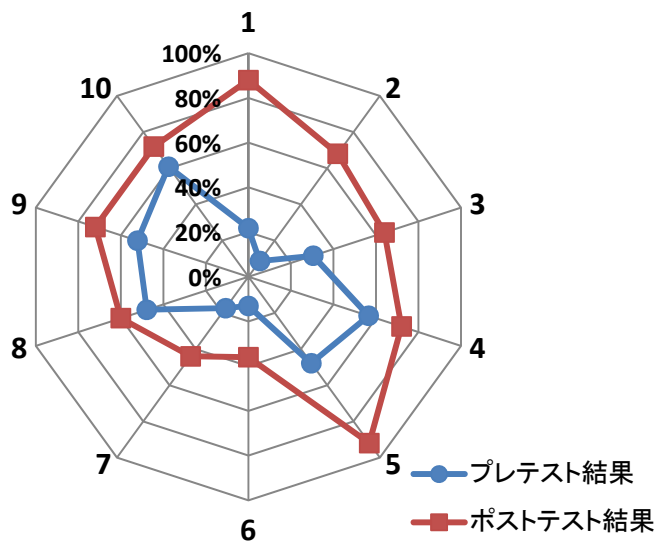
○信州大学における今後の臨床実習

- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について

○DVD映像で見る参加型臨床実習



医学教育についての理解度



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
学生が学ぶためには、自分で考えやらせることが重要	コメディカルがどこまでかかわっていくか	医学生のために、コメディカルとしてできることがあればやっていきたい
地域の医師は地域で養成することにつながる	プライマリケアにおける指導	指導する側の医師が不足しており、今の人数では難しいのではないかと。
学生をチーム医療に一員として扱うことが重要であること	どのようにしたらチームとして学生を育てるスキルを向上できるか。	抗生剤の使い方、評価などはとても大切と考えます。
医学教育の変化について	実際の運用	医行為の水準を掲示し、わかりやすくする。
学生の指導法	カルテ上の記載について	研修医受入れにも参考になった。
患者さんへの対応		
臨床教育の必要性		
学生にやらせてもよい内容		
日本の教育が国際水準でないこと		